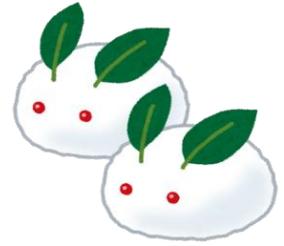


2月になり暦の上では春を迎えましたが、寒さの厳しい日が続いていますね。寒さに負けず、元気に過ごしていますか？



暖かい部屋でゆったりと読書するのも、冬の醍醐味ですよ。放課後は図書室で、好きな本を読む静かな時間を過ごしませんか？皆さんのご来館をお待ちしております！



【図書委員のオススメの本紹介】

今月のおすすめの本は、ジャンルは異なりますが、定番の本です。作品名や作者名を一度は見たことがあるのではないのでしょうか。今月は新刊も入りますので、ぜひ図書館に足を運んで、読書の幅を広げてみてください。

『海に願いを風に祈りをそして君に誓いを』 汐見夏衛（スターツ出版）

私がオススメしたい本は、「海に願いを風に祈りをそして君に誓いを」という青春ラブストーリーです。優等生でしっかり者だけど天の邪鬼な主人公の凧沙と幼馴染でおバカだけど素直で凧沙のことが大好きな優海。二人は恋人同士でお互いを理解し合い、強い絆で結ばれています。前半で描かれているのは2人の何気ない日常の学校生活や会話で文だけでも仲の良さや、互いを思いやる心が伝わってきます。でも、ある日を境に凧沙は優海に別れを告げます。無視をしたり強く当たったりして今までと一変し二人の関係が崩れていってしまいます。そこには悲しすぎる彼女の秘密が隠されていました。図書室にも新しく入ってくる予定の本なのでぜひ手に取って読んでみてください。（担当：藤原）



『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎（マガジンハウス）

この本は、中学校に通う十五歳の少年コペル君について書かれたものです。二年前に銀行の重役であったお父さんを亡くし、今は郊外の小ぢんまりとした家に母親とお手伝いさんと暮らしている。コペル君はある時、叔父さんから一冊のノートを渡される。そこには、叔父さんや友人と話したり、考えたりした、さまざまな出来事に対するメッセージがつづられていた。天文学や物理学など、叔父さんとの対話を続けるうちに、ものの見方や差別などについて学ぶ。そして親友たちとある事件を起こしたコペル君はどう生きるか、問いかける物語です。私は、コペル君が叔父さんのノートを通して成長していく姿がとても素晴らしいなと感じました。生きていれば失敗することはあるが、それは自分の成長過程の一部なのだと感じさせられました。今後、どのように生きていくのかを確認する良い機会になったので興味を湧いた方は、ぜひ読んでみてください。（担当：門田）





◎読み聞かせ活動に行ってきました！

2月12日（木）に、常盤小学校児童クラブで読み聞かせ活動を行いました。

子供たちに楽しんでもらえそうな本を図書委員が自分たちで選び、心を込めて読み聞かせを行いました。今回は1、2年生のみの参加で、頼りになる3年生の先輩方はいませんでしたが、集団演技発表会の後ということもあり、元気よく読めたように思います。読み聞かせの後は、外で一緒に遊びました。寒かったですが子供たちとの交流を通して、元気をもらいました。来年度もまた来てほしいとお声掛けをいただきましたので、より一層上手に読めるように練習したいです。



【新刊のお知らせ】

著者	本の名前	著者	本の名前
汐見夏衛	海に願いを風に祈りを そして君に誓いを	冬野夜空	すべての恋が終わるとしても：140字の恋の話
阿部暁子	カフネ	冬野夜空	すべての恋が終わるとしても [2]
宮島未奈	成瀬は信じた道をいく	水野敬也	夢をかなえるゾウ.3（ブラックガネーシャの教え）
パクミンギユ	カステラ	中井由梨子	20歳（はたち）のソウル
E.ケストナー 作ほか	飛ぶ教室	黒川博行	勁草

【図書館からのお知らせ】

春休みには、図書の貸出を行いません。そのため、今年度の貸出期間は残りわずかとなりました。読み残した本のある人は、早めに借りに来てください。

また、借りた本の返却も忘れないようにしましょう！

